

北海道原水協 F A X ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyoku@pearl.ocn.ne.jp

電話 011 (747) 7557 fax 011 (747) 7537 2015年9月17日

被爆70年を核兵器廃絶の転機に！

“戦争させない総がり行動＝集会・パレード”に参加して、中央区報告会に

安保法案をめぐる緊迫した国会情勢が続く中、16日に札幌市中央区原水協世界大会報告会が開かれました。予定の開始時間を午後7時30分に変更、多くの参加者がパレードに参加してから駆けつけました。4人の代表が報告しました（写真）

◎木塚愛子さん「特別報告の安斎育郎さんの“微力であっても無力ではない”の言葉が感動的だった」

◎佐藤友美さん「長崎のつどいで聞いた合唱や、小説など被爆の実相の伝え方がいろいろあると思った」

◎蛇見裕子さん「遺跡などいつ行っても見られるわけでない、年数経って語り継ぐことの難しさを感じた」

◎佐賀行晃さん「中部民商として7年ぶりの代表。平和の仲間がこんなにいることに嬉しく、心強く思った」



・・・ 富堂保則中央区原水協事務局長の閉会の言葉から ・・・

「原水協は核兵器廃絶とともに戦争のない平和な世界を目指している団体です。参議院での強行採決が狙われている緊迫した情勢の中で、抗議集会と報告会の両方を成功させるために急きょ時間を変更しました。今日の報告会であらためて核兵器なくそうの思いを強くしました」

『手記・被爆者Yの生涯』 安井晃一著／郁朋社刊（定価1200円＋税）



広島で被爆した安井晃一さん（91歳／元北海道原爆訴訟原告団長）はこのほど『手記・被爆者Yの生涯』を出版しました。手記は生い立ちから始めて、26年間の教員生活～平和と民主教育を守るたたかい、第五部からはいよいよ被爆者健康手帳をとり被爆者運動のこと、海外での被爆の実相普及や原爆症認定訴訟のたたかいなど語られています。

2010年に同名で自費出版していましたが、昨年出版社からの強い勧めで、手を加えて被爆70年に出版しました。

8月10日に札幌市内で出版記念と原爆訴訟勝利5周年のつどいが開かれました。安井晃一さんは「病院通いばかりで今日もやっと参加できま

紀伊国屋書店札幌本店の歴史
新刊・話題書コーナーで取扱い中

した。私は死ぬまで核兵器廃絶を訴えたい」と決意を語りました（写真）。

★ 戦争法案廃案の声、広げに広げましょう。声をあげ続けましょう ★

